

## 堺市指定管理者評価表

( 評価対象期間 : 令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 まで )

### 1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立日高少年自然の家	
(2) 施設の設置目的	
豊かな自然環境の中で行う集団宿泊生活及び諸活動を通じて少年(20歳未満の者をいう。)の心身の健全な育成を図るため	
(3) 所管部局	
子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども育成課	
(4) 指定管理者名	
公益財団法人大阪YMCA	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
・ 青少年を対象とする集団宿泊訓練及び自然学習等	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
指導者が引率する少年の団体等	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
和歌山県立白崎青少年の家、大阪府立青少年海洋センター	

## 2 管理運営状況

## (1) 適正な管理運営の確保

## ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	利用が集中する時期については、抽選会を行う等利用者の要望に応えた。海洋プログラム指導法や危機管理研修、消防避難訓練や津波避難訓練など各種研修や訓練を開催し、利用者の安全確保に努めた。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	団体人数等により適切な人員配置を行い、各種研修を行い人材育成にも努めた。館内設備については日々の点検・補修を確実に行った。また今年度は利用が減ったため、浴場の循環装置・エアコン・船舶エンジン等を定期的に稼働し、維持管理を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	自然豊かな日高の魅力、利用団体の活動の様子、主催事業のトピックスなどを積極的にフェイスブックにて発信するとともに、日高の周辺の海や陸に生息している生き物写真の掲示や館内にて魚やイソギンチャクなどの海洋生物、カブトムシやバッタなどの昆虫類の飼育・展示を行い視覚からも身近に自然を感じてもらおうよう工夫を行った。
その他特筆すべき取組	令和2年度より堺市内の小学校に加え、和歌山県内の小学校に対しても和歌山県立博物館の協力を得て磯観察時の学芸員派遣プログラムを行えるよう準備をし、案内をしたが、利用した学校はなかった。また、すさみ町にあるエビとカニの水族館に主催事業等での講師派遣協力依頼を行い、快諾を得た。

## イ 市による状況分析

利用予約の対応については、抽選会を開催することで可能な限り利用者の要望に応えた。館内設備や船舶を定期的に稼働するなど、コロナ禍という通常時とは異なる状況で適切に維持管理を行った。コロナ禍で施設利用が減少する中でも、SNS等で施設の魅力を積極的にPRした。自主事業等では新たな取組を行うなど、魅力向上を図った。

## (2) 利用者サービスの向上

## ア 利用状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
指定管理者名	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA
利用者数(単位:人)	31,659	28,144	27,434	3,615	—
稼働率(単位:%)	53.7	62.1	65.3	27.3	—
利用者満足度(単位:%)	81.0	97.0	90.9	97.6	—

## イ 取組状況

サービス向上、利用促進	職員の対応・体制について天候や海の状況に応じて柔軟に対応できるよう、研修等を行い実践をした。
意見・苦情・要望等への対応	施設利用者アンケートを実施しており、記載されている事柄について即応できるものについては対応を行った。
その他特筆すべき取組	新型コロナウイルス感染拡大を受け、館独自の感染予防ガイドラインを作成し利用時の安全安心を確保した。

## ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は例年と比べて激減したが、そのような中でも利用者に対し柔軟に対応することで高水準の利用者満足度を得た。また、独自の感染予防ガイドラインを作成し運営することで、本施設の利用者から新型コロナウイルスの感染者は1名も出ることがなかった。

## 2 管理運営状況

## (3) 収支

## ア 収支状況

(単位:円)

## ■ 指定管理業務

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
指定管理者名		公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA	公益財団法人 大阪YMCA
収入	指定管理料	54,500,000	54,500,000	55,005,000	55,510,000	55,510,000
	利用料金	9,573,600	8,627,900	8,586,600	1,355,530	8,000,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	18,394	18,942	17,348	1,642,552	20,000
合 計		64,091,994	63,146,842	63,608,948	58,508,082	63,530,000
支出	人件費	36,954,749	38,983,857	40,026,948	39,851,181	39,500,000
	委託料	10,723,788	9,727,878	9,737,773	6,845,477	10,235,000
	総支出額に占める 委託料の割合	17.0%	15.0%	14.8%	11.8%	16.1%
	修繕費	360,822	369,671	771,376	517,670	150,000
	光熱水費	7,608,186	8,132,608	8,188,820	4,458,668	8,000,000
	その他	7,555,256	7,505,467	6,955,502	6,586,210	5,645,000
合 計		63,202,801	64,719,481	65,680,419	58,259,206	63,530,000
収支差額		889,193	-1,572,639	-2,071,471	248,876	0
(市への納付金の額)		-	-	-	-	-
(徴収委託の場合の徴収額)		-	-	-	-	-

## ■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予算)
収 入		4,158,670	4,293,650	3,274,300	1,457,300	5,535,100
支 出		3,882,806	4,216,215	3,537,941	1,304,421	5,535,100
収支差額		275,864	77,435	-263,641	152,879	0
(市への納付金の額)		-	-	-	-	-

## イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	・利用が減る中、光熱水費や消耗品等の削減に努めた。 ・その他収入には市の休館等指示で還付した利用料金等相当分として市が支払った1,436,020円(令和元年度分46,961円、令和2年度分1,389,059円)を含む。
------------	--

## ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少により、利用料金収入が例年と比べ大幅に減少したが、光熱水費等の削減に努めることで収支差額はプラスとなった。

## 3 目標管理、総合評価

## (1) 目標管理

## ア 仕様書で定める目標の達成状況

## ■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
市内小学校利用校数	55校以上	1校
その他市内団体利用団体数	40団体以上	6団体
利用者数(延べ)	年間35,000人以上	3,615人

## ■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者満足度	70%以上	97.6%

## ■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	11,000,000円以上	1,355,530円

## イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少が大きな要因で、仕様書に定める目標達成には至らなかったが、利用者の要望等に柔軟に対応することで満足度は目標を大きく上回る成果となった。

## (2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	新型コロナウイルス感染拡大により、利用団体・自主事業とも壊滅的な打撃を受けた。中でも日々の管理運営費の削減に努めた。また、新たなプログラムを行えるよう準備するなど、利用内容の充実を図った。	新型コロナウイルス感染症により臨時休館や利用者数が激減するなど、通常とは異なる管理運営となった。目標値には到達できなかったが、SNSでの積極的な周知や自主事業等で新たな取組の実施、感染防止対策を万全に期した運営など目標値とは別に一定の評価をする。
今後の取組	新型コロナウイルス感染対策を確実に実行し、安全安心な利用をしていただけるように運営を行っていく。	今後もSNS等での周知等積極的にPRに努めることで、施設利用の促進を図られたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの